



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和8年度 7月号

神奈川県立相模原中央支援学校

目標に向かって

私が小学生だった頃、サッカー漫画の主人公に憧れ、放課後になると毎日のようにボールを追いかけていました。そして、「日本代表がワールドカップに出場すること」を夢見ていました。

あれから約 40 年が経ち、日本人サッカー選手は世界の舞台で活躍するようになり、ワールドカップ出場は当たり前と言われる時代になりました。今の日本代表の目標は、まだ誰も見たことのない「最高の景色」、つまりワールドカップ優勝です。残念ながら先日の試合ではブラジルに敗れましたが、最後まであきらめずに戦う選手たちの姿に、多くの人が勇気や感動をもらったのではないのでしょうか。

今年度、私は週に 1 時間だけ授業を担当しています。授業の中で、「わかった!」という表情を見せたり、目を輝かせながら活動したりする生徒の姿は、私たち教員にとって何よりの喜びであり、明日へのエネルギーでもあります。さまざまな表情を見せながら、子どもたちは一日一日少しずつ成長しています。

大きな目標は、最初から手が届くものではありません。まずは今日できること、今週頑張ることなど、小さな目標を一つずつ積み重ねることが大切です。その積み重ねが、自分でも想像していなかった最高の景色へとつながっていきます。夏休みを前に、それぞれが自分なりの目標を立て、自分のペースで挑戦を続けてほしいと思います。その先に、皆さんがどんな景色を見ることができているのか、とても楽しみにしています。（副校長：蒲原 泰広）

みんなで創る授業

～子ども理解を土台とした授業改善～

今年度より、新しく研究研修部長に就任しました。どうぞよろしくお願い致します。令和 6 年度より開始しました『みんなで創る授業～子ども理解を土台とした授業改善～』をテーマとした研究活動は、今年度で 4 年計画の 3 年目になります。今年度は 13 チームを結成し、より良い授業づくりを目指して授業検討会を年に 3 回行います。チームで研究授業についての様々な話し合いを行うことで、より良い授業実践を目指すだけでなく、チーム全体の協働的な学びの場とします。また、今年度は、7 月 28 日に「夏の公開研修会（5 講座）」、7 月 30 日に授業改善研修会の一環である「講演会」を予定しています。その他、校内の教員で構成される学習会「さがちゅうゼミ」や「ICT 活用研修会」も実施します。学校全体で、より良い授業実践の土台となる専門性の向上を図っていききたいと思います。（研究研修部長：浅井 与志野）

チームより 安心・安全な学校生活づくり

安全対策チームでは、避難訓練や緊急引き渡し訓練などの防災に関する研修、不審者対応訓練などの防犯に関する研修を実施したり、災害時用の防災倉庫の物品の管理等を行ったりしています。夏季休業中には、昨年度は消防署や学校の設備会社と連携し、消火訓練を実施しました。今年度も相模原警察署の方に来ていただき、シミュレーション訓練や護身術などの講習を行う不審者対応研修を実施します。これからも訓練や研修を通して、校内の防災・防犯の意識を高めていくとともに、地域と連携した取り組みも行っていけたらと思っています。

（安全対策チーム：福永 翔也）

